

「N E D O懸賞金活用型プログラム／GENIAC-PRIZE」 に係る企画運営等業務のあり方に関する調査

公募説明会

2025年3月19日

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構
AI・ロボット部

1. 事業概要



背景・目的

「イノベーション循環の実現に向けた政策の方向性」（2024年3月6日 経済産業省 産業構造審議会 産業技術環境分科会 イノベーション小委員会）では、経済産業省が実施する研究開発事業において、国としてクリアすべき明確な目標を掲げ、特定の技術・手段によらず、研究開発の『成果』に報酬を支払う仕組みである懸賞金型研究開発事業を本格実施することとしており、諸外国においても、目標水準以上の研究開発成果を上げた上位数者に対して懸賞金を支払う仕組みを採用している。これらを踏まえて、「**N E D O 懸賞金活用型プログラム／GENIAC-PRIZE**」（以下、「本プログラム」という。）は、技術課題等の解決に資する多様なシーズ・解決策をコンテスト形式による懸賞金型の研究開発方式を通じて募り、将来の社会課題解決や新産業創出につながるシーズをいち早く発掘することで、シーズの実用化、共同研究等（※）の機会創出等の促進を目指して実施するものである。

（※）共同研究等とは、民間企業が大学・公的研究機関等に対して共同研究費等を提供するものに加え、応募者その他の企業や大学・公的研究機関等との間の秘密保持契約（N D A）や覚書の締結、自治体調達の契約、国によるガイドラインの策定等を含む。

生成 A I は、生産性・付加価値の向上等を通じて大きなビジネス課題を引き出すとともに様々な社会課題の解決に資することが期待されている。国際的な生成 A I の開発競争が激化している中、経済産業省と N E D O は 2024 年 2 月から「G E N I A C（Generative AI Accelerator Challenge）」プロジェクトを立ち上げ、国内の生成 A I 開発力強化や社会実装等に向けた支援を実施しているところである。

他方で、生成 A I サービスを導入することによる社会的インパクトが大きいものの、社会実装のためのニーズをきめ細かく満たすためには、さらなる開発が必要な領域がある。こうした領域における生成 A I サービスの実装に向け、領域毎のニーズを提示した上で、成果に応じた懸賞金等のインセンティブを与え、複数者による生成 A I サービス開発を促進し、生成 A I サービスの社会実装を加速させる。

1. 事業概要



本プログラムでは、以下の3領域（4テーマ）を設定する予定である。本調査事業への応募を検討する者には各領域の内容について記載した「懸賞広告」の案を提供するので、NEDOの公募サイトに掲載している「**資料閲覧誓約書**」（後述）を作成の上、同サイトの指示に従い申し込むこと。なお、応募を検討する者が「「懸賞広告」の案」を他の企業等に共有することは禁止とする。

1. 国産基盤モデルを用いた社会課題の解決に資するAIエージェント開発
 - (ア) カスタマーサポートの生産性向上
 - (イ) 製造業の暗黙知の形式知化
2. 官公庁等における審査業務等の効率化に資する生成AI開発
3. 生成AIの安全性確保に向けたリスク探索及びリスク低減技術の開発

2. GENIAC

事業概要

- 生成AIの開発力強化のため、
 - コア技術である基盤モデルの開発力強化に向けた計算資源の調達支援
 - 国内外の開発者同士の交流促進
 - AIの本格利用を志すユーザーや、モデルの性能に寄与するデータの保有者等との連携促進等を行う。
- 本プロジェクトを、「GENIAC（Generative AI Accelerator Challenge）」と呼ぶ。

✓ GENIACの構成要素



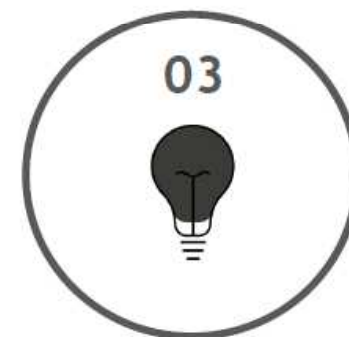
計算資源

生成AIのコア技術である基盤モデルを開発する上で確保が課題となる、計算資源の調達を支援します。



データ

イベントのほか、データ利活用に向けた支援を通じ、ユーザーなどデータ保有者との連携を促進します。



ナレッジ

イベントやコミュニケーションツールにより、国内外の開発者同士や制度担当者との交流を促進します。

2. GENIAC



事業概要

- 国内の生成AIの開発力強化に向けて、そのコア技術である基盤モデルの開発を促進するため、開発に必要な計算資源を一括調達するとともに、その利用料を補助。
- 1サイクル目（開発期間:2月～8月）では、10者を採択。採択においては開発ノウハウ等の公開を重視し、国内における大規模言語モデルの基礎体力作りを図った。300名超が実開発を経験。
- 2サイクル目（開発期間:10月～4月）では、マルチモーダル化や個別領域に特化したAIなど、より社会実装を重視したモデルの開発を支援。

	計算資源の調達支援（1サイクル目）の概要		計算資源の調達支援（2サイクル目）の概要
補助率	定額（中小企業・スタートアップ等） 1/2（大企業）	2/3（中小企業・スタートアップ等） 1/2（大企業）	2/3（中小企業・スタートアップ等） 1/2（大企業）
対象経費	計算資源 （Google Cloud）の利用料	計算資源 （Microsoft Azure）の利用料	計算資源のクラウド利用料、 データ整備に必要な費用（外注費） ※計算資源提供者の別は問わない
公募期間	R5/11/10～12/11	R6/2/16～3/18	R6/7/16～8/23
スケジュール	8/15まで開発 → 6か月の開発期間が終了。基礎体力作りに一定の成果	8/15まで開発	10月中旬から6ヶ月間 →より社会実装を見据えた開発へ

2. GENIAC



参加事業者

1 サイクル目の計算資源 調達支援の成果ダイジェスト



✓既存モデルを活用し
GPT-3.5を超える性能を達成

sakana.ai

✓GPT-3.5級の小型で効率的な
モデルを開発



✓スクラッチで国内最大級モデルを開発



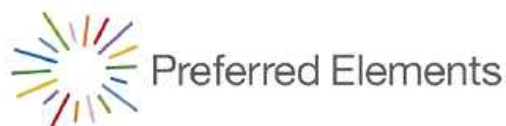
✓スクラッチで100Bモデルを開発
90%のハルシネーション抑制に注力

TURING

✓日本語と画像理解が
世界最高レベル性能のVLM開発



✓200人以上の生成AIエンジニアを育成



✓スクラッチ開発の100Bモデルで日本語性能
GPT-4o超えを達成

ELYZA

✓既存モデルをマージしたモデルで
日本語性能GPT-4超えを達成



✓日本語音声生成で世界一位の
性能である7Bの音声基盤モデル開発



✓世界最高性能のナレッジグラフ技術
活用した基盤モデルを開発

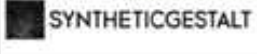
2. GENIAC



参加事業者

計算資源の調達支援 - 2サイクル目採択者一覧（1 / 2）

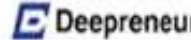
- 言語だけでなく画像・動画・音声へのマルチモーダル化や、推論の効率化、アニメ・観光・化学などの産業領域における基盤モデル開発を目指す企業・研究機関の計20者を採択。

採択者名		分野	開発概要
 ABEJA 株式会社ABEJA	株式会社ABEJA	ビジネス業務 (営業・バックオフィス)	ビジネス支援に向けた、日本語特化で小型高性能なAIプラットフォームの開発
 AldeaLab Innovate through AI	株式会社AIdeaLab	アニメーション	実写動画・アニメ動画作成に向けた動画生成AIモデルの開発
 AiHUB	AiHUB株式会社	アニメーション	アニメ業界の業務効率化を目指したアニメ特化動画生成AIプラットフォームの開発
 AI inside	AI inside株式会社	文書読取	非定型帳票の読取に特化したマルチモーダル基盤モデルの開発
 EQUES	株式会社EQUES	化学 (製薬)	薬学・製薬業界の業務効率化を支援する大規模言語モデルの開発
 Kotoba Technologies	株式会社Kotoba Technologies Japan	音声	リアルタイム翻訳や音声生成を実現する日本語対応の音声基盤モデルの開発・実用化
 NABLAS	NABLAS株式会社	食品	食品業界の商品企画業務を支援する大規模言語モデルの開発
 Preferred Elements Preferred Networks	株式会社Preferred Elements 株式会社Preferred Networks	言語	世界最大規模の高品質データセットによる大規模言語モデルの開発
 SYNTHETICGESTALT	SyntheticGestalt株式会社	化学 (製薬)	AI創薬の実現に向けた分子情報に特化した基盤モデルの開発
 TURING	Turing株式会社	自動車	自動運転の実現に向けた物理環境を理解/対応するマルチモーダル基盤モデルの開発

2. GENIAC

参加事業者

計算資源の調達支援 - 2サイクル目採択者一覧（2 / 2）

採択者名		分野	開発概要
 woven by TOYOTA	ウーブン・バイ・トヨタ株式会社	自動車	都市のリアルタイム情報提供を可能とするマルチモーダル基盤モデルの開発
 al+	株式会社オルツ	ビジネス業務 (バックオフィス)	世界最高性能の日本語言語処理技術によるパーソナルAIの開発
 KARAKURI	カラクリ株式会社	サービス	カスタマーサポートの業務効率化を支援するAIエージェントの開発
 JAMSTEC	国立研究開発法人海洋研究開発機構	環境	AIによる防災計画策定を実現する気候予測に特化した基盤モデルの開発
 Stockmark	ストックマーク株式会社	言語・画像	企業の資料作成・管理業務効率化を支援するマルチモーダル基盤モデルの開発
 DATAGRID	株式会社データグリッド	画像・動画	映像編集やフェイク映像検出を支援する動画・画像生成モデルの開発
 Humanome Lab	株式会社ヒューマノーム研究所	化学 (製薬)	創薬の加速に向けた遺伝子発現量を予測する基盤モデルの開発
 FUTURE	フューチャー株式会社	ソフトウェア	ソフトウェア開発の効率化支援に向けた日本語による入出力を可能とするプログラミング言語特化の基盤モデルの開発
 RICOH imagine. change.	株式会社リコー	文書読取	企業の文書/マニュアルの効率的活用を支援するマルチモーダル基盤モデルの開発
 ubitus  Deepreneur	株式会社ユビタス 株式会社Deepreneur	観光	観光業向け多言語基盤モデルの開発

2. GENIAC

コミュニティ

- 開発者同士が知見を共有し合い、ネットワークを広め、また開発したモデルを多くのユーザーによる利用につなげていくような環境作りを目指すコミュニティを運営。
- 具体的には、有識者を招いたセミナーや、開発者ネットワーキングイベント、開発者・ユーザー等の間のマッチングイベントを、オンライン／オフラインで開催するほか、日々の情報共有のためオンラインコミュニケーションツールを活用。

【過去実施したイベント例】

2サイクル目の計算資源の調達支援事業、第1回データ・生成AI利活用実証の採択者同士の顔合わせイベント（10/10）

開発者・ユーザー等のマッチングイベント（5/15）



3. 調査委託内容



本調査事業では、本プログラムの成果を最大化させるために必要な企画運営等の業務のあり方について提案を行う者（企画運営等事業者）を募集する。

以下、「応募」とは、懸賞広告課題に対する「成果の提出」を意味する。

以下、「審査」とは、成果を審査して、「受賞者（懸賞金受領者）を決定すること」を意味する。

実施内容は極力定量的な目標を設定し、定性的な目標設定とせざるを得ない場合は、その理由を分析すること。

その際、「N E D O 懸賞金活用型プログラム」基本計画で定めるアウトプット目標、アウトカム目標は必ず設定すること。

アウトプット目標：シーズの実用化、共同研究等につながるシーズの発掘を目指すために、懸賞広告において研究開発の目標を掲げて**多数の応募を募る**。

アウトカム目標：技術課題や社会課題の解決に向けて、**懸賞広告応募者と当該シーズのユーザーとの連携の機会を創出し、短期（2年後まで）に事業化等につなげる**ことを目指す。

3. 調査委託内容

3-1. プログラムへの応募可能性に関する調査

- 本プログラムに関連する事業者等リストの作成に向けた調査
- 企画運営等事業者によるヒアリングの蓋然性が高い事業者等のリストアップ 等
- 各企業への個別ヒアリング等を通じた本プログラムへの要望等に関する調査

プログラムへの応募可能性に関する調査・本プログラムに関連する事業者等リストの作成に向けた調査については、提案書内にリストアップする企業群、事業者名等を明記してください。

3-2. 本プログラムへの応募を効果的に促進するための調査

- 懸賞広告の課題の趣旨や審査方法等、懸賞広告内容等を周知するための説明会の開催。
説明会スケジュールの検討、説明会の準備・当日の全体運営等の実施 等
- 本プログラム実施に向けた体制の構築、関係機関との連携方針の立案
- 体制の構築については8. を参照すること
- 懸賞広告の内容を幅広く周知するための情報発信の実施
- 具体的な情報発信の方法や内容、実施スケジュールの検討と実施
- 応募者拡大に向けた全国的な周知やイベントの開催、応募時の課題解決に向けた生成AIサービス開発者へのフィードバック、想定ユーザーを巻き込むための打ち手の方針 等

3. 調査委託内容



3-3. 本プログラムにおける懸賞金以外のインセンティブの具体化に係る調査

- 本プログラムの各領域で既に設定された懸賞金以外のインセンティブの具体化
- 例として、「官公庁等における審査業務等の効率化に資する生成AI開発」領域におけるインセンティブ「全国の官公庁等とのコネクション形成に資するイベント」の具体化 等

3-4. 審査の企画運営

- 応募状況の可視化や管理、懸賞広告で定めた応募書類等のスクリーニングの実施
- 懸賞広告への応募申請に対し、審査員との利害関係について確認すること
- 応募内容や審査結果の取りまとめ、審査員等への説明、審査会場の確保等、審査を円滑に実施するための打ち手の実施
- 審査の実施に係るスケジュールの検討、審査員への審査に関する説明・事務手続き、会場の確保、会場費含む諸費の支払、応募者や成果の要件充足確認、審査準備・当日の全体運営、応募者や受賞者への事務対応等および最終審査終了後の本懸賞金制度の質の向上および改善に資するアンケートの実施 等。なお、審査員とは、各テーマにおいて設定された審査基準に基づき、応募内容を審査する者を指す。審査員の旅費・謝金はNEDOが直接支払う。

3. 調査委託内容



3-5. 表彰式の企画運営

- 表彰式の実施効果を最大化させるための打ち手の実施
- 表彰式の周知活動や内容（審査と同時開催可）、会場、授与物、来場者の管理方法、表彰式当日の運営等の方針等の策定

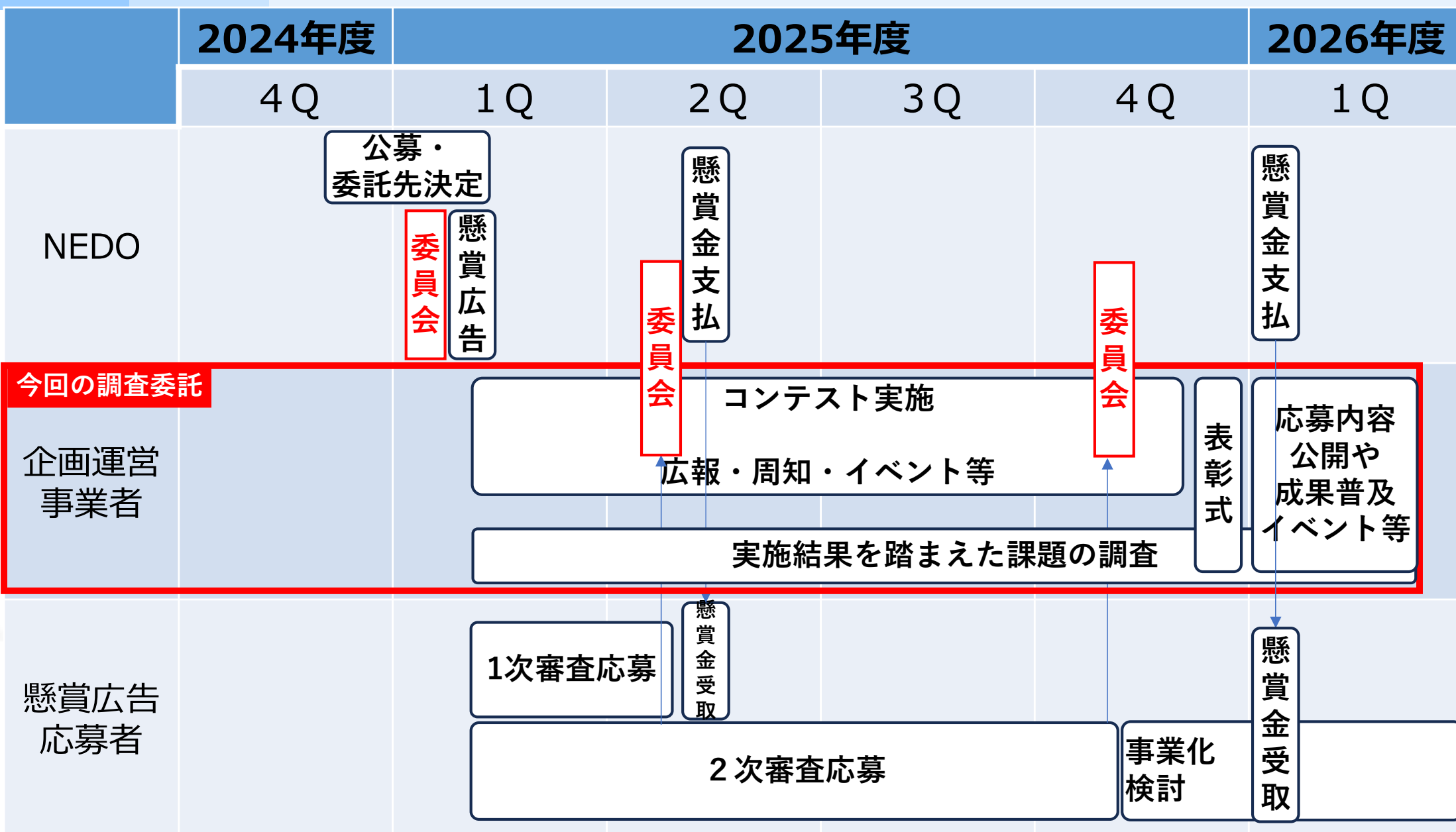
3-6. 表彰式後の成果波及に向けた支援等実施

- 本プログラムの成果物のユーザー企業への周知活動の実施
- 地方含む主要都市において本プログラムの成果物をユーザー企業が把握できる機会の創出 等
- 懸賞金の応募者が提案したソリューションをもとにした、ユーザー企業による自律的な生成AIサービス導入に向けた取組の支援
- 生成AIサービス導入を志向する企業等が、懸賞金の応募者が提案したソリューションをもとに、効率的に生成AIサービスを探すことが出来るような打ち手の検討 等
- なお、本項目のアウトプットに必要な事項は、表彰式後だけでなく本プログラムの実施期間中にも企業等のヒアリング等を通じながら具体化していくこと

3-7. 本プログラムの実施結果を踏まえた課題の調査

- 本プログラムの実施を通じて得られた調査結果等に基づき、本プログラムの活用可能性の高い領域を明らかにし、以後類似のプログラムを実施する際に設定すべき課題、その評価手法の検討（ルール・基準の明確化）に資する調査の実施

4. 想定スケジュール



※懸賞広告において1次審査の実施有無は領域ごとに異なります。

5. 資料閲覧の方法



懸賞広告（案）

提案書の作成にあたって、各テーマの懸賞広告（案）を閲覧いただくことができます。
（3領域4テーマ、約20ページ）。

閲覧をご希望の場合は、以下の手続きをお願いします。

- ① 「資料閲覧誓約書」に必要事項を記入のうえ、社印を押印し、PDF化してください。
- ② 電子メールに①で作成したPDFを添付し、お申し込みください。

申込期限：**2025年3月26日（水）正午**

送信先：aicontest@nedo.go.jp

※メール件名冒頭に【資料閲覧希望：GENIAC-PRIZE】を付してください。

- ③ 資料のダウンロード方法・閲覧方法を申込者のメールアドレス宛にご連絡いたしますので、各自操作してください。

資料閲覧期間：**2025年3月12日（水）午後～4月10日（木）正午**

申込期限を過ぎた資料閲覧希望及び資料閲覧期間の延長または変更には応じられません。

6. 事業期間・規模・報告書



事業期間

2025年度～2026年度

(NEDOの指定する日から2026年5月31日まで)

事業規模

2025年度～2026年度 合計2.5億円程度

※ただし、予算額は変動する可能性があります。

報告書・報告会

提出期限：2025年度終了時（最終営業日：2026年3月31日（火））
2026年度終了時（最終営業日：2026年5月29日（金））

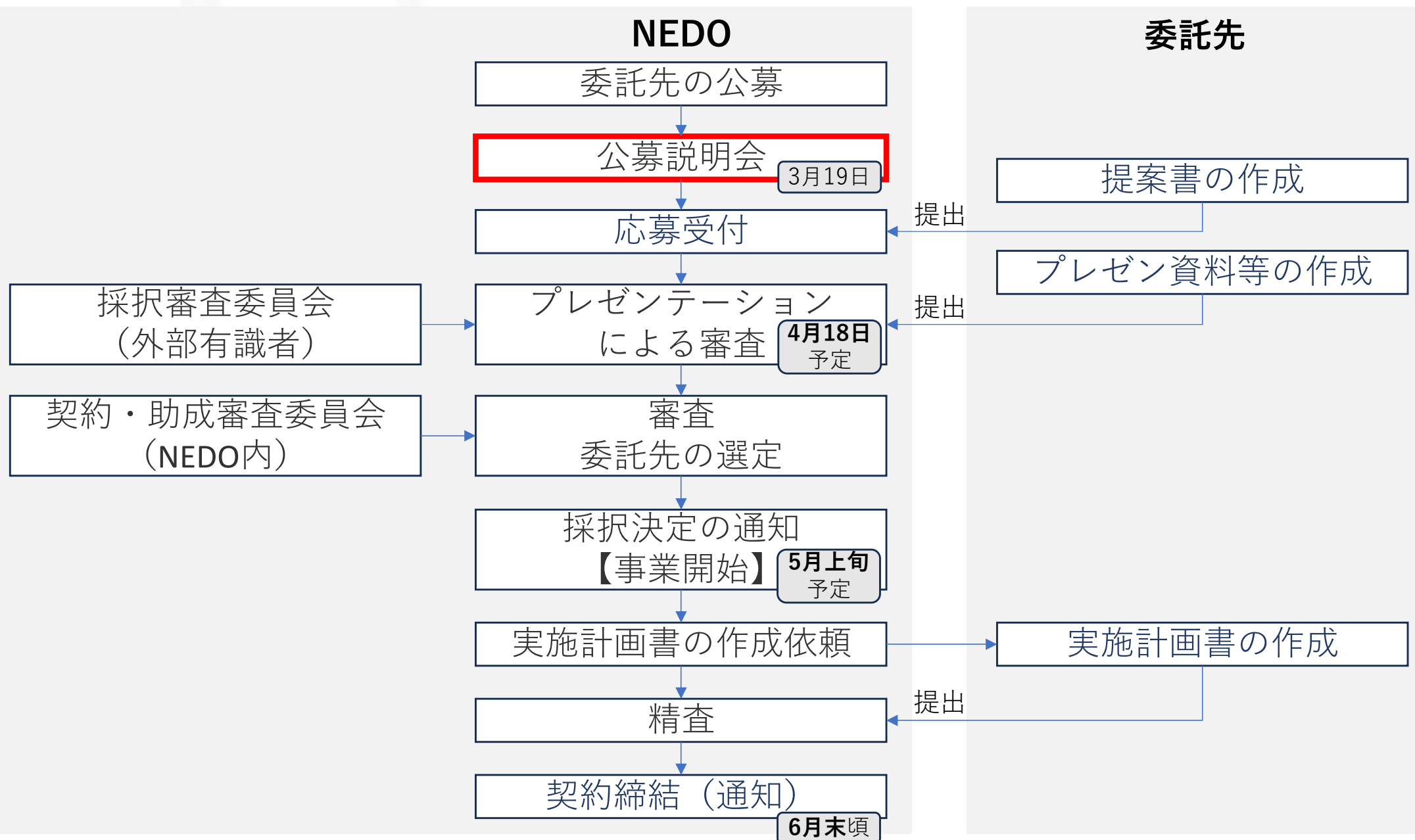
提出方法：NEDOプロジェクトマネジメントシステムにて提出すること

記載内容：「成果報告書・中間年報の電子ファイル提出の手引き」に従って作成の上、提出

<https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/manual.html>

また、委託期間中または委託期間終了後に、成果報告会における報告を依頼することがあります。

7. 契約までの流れ



8. 審査の流れ



審査は4月18日（金）を予定しています。

提案内容についてプレゼンテーションおよび質疑応答をおこない、その内容を踏まえて審査します。

審査は**Webミーティングの形式**で実施します。

プレゼンテーションで使用する資料は、**4月14日（月）正午までに提出していただく予定**のため、資料の内容についてはあらかじめ検討しておく必要があります。

なお、プレゼンテーションの時間は応募数によって変動しますが、15～20分を予定しております。
（質疑応答も同様の時間を予定）

9. 採択の流れ



審査後、NEDO内に設置する契約・助成審査委員会で最終的に採択決定し通知を行います。

審査の内容によって、実施内容や委託対象経費の変更等が「採択の条件」となる場合があります。

「採択の条件」に不服がある場合は申請を取り下げることができます。

採択決定以降、事業を開始することができます。

- ① 採択決定された提案者の内、会計監査人を設置していない会社には「200万円以上（税込）の見積もり・取引予定先一覧」を提出していただきます。
- ② 採択決定の通知後に、実施計画書が提出され次第、NEDOは契約の手続に入ります。
- ③ 各条件等の確認後、所定の文書手続を経て、NEDOが契約締結決定を通知します。また、一部の申請情報を基に、委託決定先の公表をいたします（応募者の氏名、委託先法人名、委託事業の名称及び委託事業の概要）。さらに、採択審査委員（評価者）の所属、氏名を採択決定後にNEDOのウェブサイト公表します。
- ④ **不採択の場合、不採択理由を添えてその旨を通知いたします。**
- ⑤ 必要に応じてニュースリリースを行う場合があります。**採択事業者が採択に係るニュースリリース等を実施する場合は事前にNEDO担当部までご相談ください。**

10. 審査基準



- ① 企画運営等の仕様書の内容が網羅的に反映されていること。
- ② **企画運営等の方法、内容等が優れていること。特に、本プログラムの周知を全国的に広く、かつ継続的に行う計画となっていること。**
- ③ 企画運営等の経済性が優れていること。
- ④ **本プログラムに関連する分野での説明会や審査会、表彰式等、イベントの企画運営に関する実績を有すること。**
- ⑤ **企業の生成AI開発、利活用について専門的な知見を有すること。**
- ⑥ **生成AI開発企業をはじめとする本プログラムに関連する企業等とのコネクションを有しており、連携実績を有すること。**
- ⑦ 経営基盤が確立していること。
- ⑧ 当該企画運営等に必要な体制・人員等を有していること。
- ⑨ 委託業務管理上NEDOの必要とする措置（経理、進捗管理、対外折衝・調整等）を適切に遂行できる体制を有するか。
- ⑩ **ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況**
（平成28年3月22日にすべての女性が輝く社会づくり本部において、社会全体で、女性活躍の前提となるワーク・ライフ・バランス等の実現に向けた取組を進めるため、新たに、女性活躍推進法第24条に基づき、総合評価落札方式等による事業でワーク・ライフ・バランス等推進企業をより幅広く加点評価することを定めた「女性の活躍推進に向けた公共調達及び補助金の活用に関する取組指針」が決定されました。本指針に基づき、女性活躍推進法に基づく認定企業(えるぼし認定企業・プラチナえるぼし認定企業)、次世代育成支援対策推進法に基づく認定企業(くるみん認定企業・プラチナくるみん認定企業)、若者雇用促進法に基づく認定企業（ユースエール認定企業）に対しては加点評価されることとなります。）
- ⑪ 総合評価

1 1. 応募手続き及び受付期限



NEDO本公募ページから必要な書類をダウンロードし、必ず受付期間内にWeb入力フォームから必要情報の入力と提案書類及び関連資料のアップロードを行ってください。

他の方法（持参・郵送・FAX・E-mail等）による応募は受け付けません。

本公募ページ

https://www.nedo.go.jp/koubo/CD2_100395.html

Web入力フォーム

<https://app23.infoc.nedo.go.jp/koubo/qa/enquetes/iyg5tpkodwyq>

受付期間

2025年3月12日（水）～2025年4月10日（木）正午

※通信トラフィック状況等により、入力やアップロードに時間がかかる場合があります。

特に期限直前は混雑する可能性がありますので、余裕をもって提出してください。

12. 応募方法



- 提出先のWeb 入力フォームで以下の①～⑬を入力いただき、⑭⑮をアップロードしてください。
⑭にアップロードするファイルは、PDF形式で1ファイルのみ、⑮でアップロードするファイルは提出書類毎（全てPDF形式）に作成し、一つのzip ファイルにまとめてください。
なお、**アップロードするファイル（PDF、zip等）にはパスワードは付けないでください。**
- 提出時に受付番号を付与します。再提出時には、初回の受付番号を入力してください。
再提出の場合は、再度、全資料を再提出してください。
- 提出された提案書を受理した際には代表法人連絡担当者宛に提案受理のメールを送付いたします。

入力項目

- | | |
|----------------------------|--|
| ①提案名 | ⑭代表法人実施責任者（※） |
| ②代表法人番号（13桁） | ⑮連名提案法人名・再委託先法人名及び実施責任者名（複数の場合は、列記） |
| ③代表法人名称 | ⑯利害関係者（任意） |
| ④代表法人連絡担当者氏名 | ⑰実施体制（担当実施項目番号と法人名を入力） |
| ⑤代表法人連絡担当者職名 | ⑱実施期間（提案する実施期間を選択） |
| ⑥代表法人連絡担当者所属部署 | ⑲提案額（提案総額を入力） |
| ⑦代表法人連絡担当者所属住所 | ⑳初回の申請受付番号（再提出の場合のみ） |
| ⑧代表法人連絡担当者電話番号 | ㉑提出書類（提案書）（提出書類のうち提案書をPDF形式にしてアップロード） |
| ⑨代表法人連絡担当者Eメールアドレス | ㉒提出書類（その他）（提出書類のうち提案書以外を一つのZIP形式にしてアップロード） |
| ⑩調査・企画運營業務の概要、提案方式・方法のポイント | |

12. 応募方法



提出書類

- ① 提案書（表紙、本文）
詳細は別添1参照
- ② ワーク・ライフ・バランス等推進企業に関する認定等の状況
詳細は別添2参照
- ③ NEDO事業遂行上に係る情報管理体制等の確認票
詳細は別添3・別添4参照
- ④ 会社案内（会社経歴、事業部、研究所等の組織等に関する説明書）（提出先のNEDO部課と過去1年以内に契約がある場合は不要）
- ⑤ 直近の事業報告書
- ⑥ 財務諸表（原則、円単位：貸借対照表、損益計算書（原価報告書、販売費及び一般管理費明細書を含む）、株主（社員）資本等変動計算書）（直近3年分）
※「株主（社員）資本等変動計算書」については、会社法で定める株式会社、合同会社、合資会社及び合名会社に該当する場合にのみ提出ください。
※なお、審査の過程で、必要に応じて財務に関する追加資料の提出を求める場合があります。
- ⑦ （該当する場合のみ）NEDOが提示した契約書（案）に合意することが提案の要件となりますが、契約書（案）について疑義がある場合は、その内容を示す文書
※契約書（案）：調査標準契約書 <https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/yakkan.html>
- ⑧ （該当する場合のみ）当該提案内容に関して、国外企業等と連携している、又はその予定がある場合は当該国外企業等が連携している、若しくは関心を示していることを表す資料

12. 応募方法



応募に関する注意

- 提出書類は日本語で作成してください。
- 再提出は受付期間内であれば何度でも可能です。同一の提案者から複数の提出書類が提出された場合は、最後の提出のみを有効とします。
- 登録、応募内容確認、送信ボタンを押した後、受付番号が表示されるまでを受付期間内に完了させてください。（受付番号の表示は受理完了とは別です。）
- 入力・アップロード等の操作途中で提出期限になり完了できなかった場合、受け付けません。
- 通信トラフィック状況等により、入力やアップロードに時間がかかる場合があります。特に、提出期限直前は混雑する可能性がありますので、余裕をもって提出してください。
- 「3. 応募要件」を満たさない者の提出書類又は不備がある提出書類は受理できません。
- 提出書類に不備があり、提出期限までに修正できない場合は、提案を無効とさせていただきます。
- 受理後であっても、応募要件の不備が発覚した場合は、無効となる場合があります。
- 無効となった提出書類は、N E D Oで破棄させていただきます。

1 2. 応募方法



応募に関する問い合わせ

応募に関する質問等は2025年4月9日（水）まで電子メールで受け付けます。
ただし、審査の経過等に関するお問い合わせには応じられません。

問い合わせ先

国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）

AI・ロボット部 AI懸賞金公募担当 石井、高草木

メールアドレス：aicontest@nedo.go.jp